

□■養成所ニュースプラス第 24 号 2023□■

第 34 期生の皆さん、修了おめでとうございます。対象の方に修了関係書類を 10 月 31 日に発送しました。1 週間経っても届かないようでしたらご一報ください。

日本ソーシャルワーカー連盟 (JFSW) は、国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW) のアジア太平洋地域会長とヨーロッパ会長の連名で出された「イスラエルとパレスチナのソーシャルワーカーとの連帯」への支持を表明しました。是非一読していただければと思います。

Plus Quiz では、今号から年内にかけてインプットした知識をアウトプットするために、第 30～32 回の過去問を中心に 2 科目群ずつ、出題頻度の多い項目から出題していきます。また、Plus Column はその間お休みします。

今回は、「人体の構造と機能及び疾病」(現、医学概論) から障害の概要、「心理学理論と心理的支援」(現、心理学と心理的支援) からストレスの問題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか合わせて考えてみましょう。

■Plus Quiz

【第 31 回問題 6】障害に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

1. 遂行機能障害は、高次脳機能障害に含まれる。
2. 白血病による免疫機能障害は、身体障害者福祉法の内部障害に含まれる。
3. 先天性の疾患は、聴覚障害の原因疾患に含まれない。
4. 脳性麻痺は、身体障害者福祉法の肢体不自由の原因疾患に含まれない。
5. 糖尿病の合併症は、視覚障害の原因疾患に含まれない。

【第 32 回問題 12】ストレスに関する次の記述のうち、適切なものを 1 つ選びなさい。

1. コーピングとは、ストレスの原因となる出来事のことである。
2. 日常の些細 (ささい) ないらだちごとが積み重なっても、健康を損なうようなストレスは生じない。
3. ストレッサーを制御できるという信念は、ストレスの緩和にはつながらない。
4. アパシーとは、ストレス状態が続いても、それに対処できている状態のことである。
5. ハーディネスとは、ストレスに直面しても健康を損なうことが少ない性格特性である。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

・(34 期生) 修了に関する書類は、10 月 31 日 (火) に発送しています。届きましたら必ず確認し、もし書類の不足等がありましたらご連絡ください。また、1 週間程度経過しても書類が届かない場合にはご連絡ください。←New
住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。

・(35 期生) 教育訓練給付制度 (専門実践教育訓練) の支給希望の方へ
本日、支給申請書類一式を発送しています。届きましたら内容を確認し、11 月中にご自身でハローワークに申請してください。印字内容が間違っている、ハローワークで受理されない等ありましたら早急にご連絡ください。←New
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

・(35 期生) 見込書類 (実務経験証明書) のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。

・受講の手引の表紙裏 (表紙の次のページ) に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

・(35 期生) 3 学期レポート課題の<テキスト・参考文献>表記に誤りがありましたので、ホームページに訂正を掲載し

ております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1157182&c=3246&d=99c7>

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第36回国家試験は、令和6年2月4日（日）です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1157183&c=3246&d=99c7>

- ・本養成所主催、「受験対策講座」はwebにて順次公開予定です。

第34・35期生の皆様にご案内を郵送しておりますので、内容をご確認の上、ぜひ受講してください。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1157184&c=3246&d=99c7>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1157185&c=3246&d=99c7>

- ・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第36期生の出願を受け付けております。←New

現在、1期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介しますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1157186&c=3246&d=99c7>

資料請求についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1157187&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1157188&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

冒頭でお伝えいたしましたとおり、年内はお休みします。

【Plus Quiz 正答と解説】

【第31回問題6】中項目「障害の概念」はこの5年間毎年出題され、脳梗塞の後遺症、注意欠如・多動症、双極性障害、後天性免疫不全症候群による免疫機能障害、指定難病、高次脳機能障害、糖尿病による視覚障害、脳血管性認知症等が問われています。今回の問題は、先天性障害と後天性障害を合わせ5つの障害の特徴の知識が求められます。

1. ○厚生労働省作成の高次脳機能障害診断基準では、後天的な脳の器質的病変により記憶障害、注意障害、推敲機能障害、社会的行動障害の4つの認知障害のために日常生活または社会生活が困難なものを高次脳機能障害者としています。遂行機能障害の症状として、仕事の優先順位が付けられない、仕事のやり方が途中で変わる、行動の計画が立てられない等がみられます。

2. ×白血病による免疫機能障害は内部障害に含まれません。「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害」は含まれ、1998（平成10）年に身体障害者福祉法に追加されました。

3. ×先天性の疾患も含まれます。聴覚障害を含めた身体障害は、障害の程度により認定され、原因疾患が先天性か後天性かは問われません。

4. ×肢体不自由の原因疾患に含まれます。身体障害者手帳所持者の中で肢体不自由は最も多く、原因として、脳性麻痺や脳外傷性後遺症、脳血管疾患等が挙げられます。

5. ×糖尿病の合併症である糖尿病性網膜症は視覚障害の原因疾患です。慢性型は高齢者に多く、急性型は若年層に多く

見られます。

【第 32 回問題 12】 ストレスについては、現代の社会福祉士として欠かせない知識です。中項目「ストレスとストレッサー」はこの 5 年間毎年出題され、問題焦点型ストレス対処法（コーピング）、汎適応症候群における抵抗期・警告反応期、ホメオスタシス、タイプ A 行動パターン、心理社会的ストレスモデル、心的外傷後ストレス障害（PTSD）、ストレッサー、アパシー、ハーディネス等が問われています。これらのストレス関連用語は、コーピングのように繰り返し出題されるものもあり、説明できるようにしておく必要があります。

1. × 選択肢は、「ストレッサー」です。コーピングは、ストレッサーによるストレス反応を緩和させる対処方法のことです。
2. × 日常の些細ないらだちごとは、ストレッサーのひとつでストレスに繋がります。ラザルスとフォルクマンは、「デイリーハッスル」と呼びました。
3. × ストレスの緩和に繋がります。ストレッサーが自分にとって重要で有害だと評価され、かつ自分では対処できないと認知されるときにストレス反応が起こります。このため、ストレッサーを制御できる信念はストレスの緩和につながります。
4. × アパシーは、ストレス状態が長く続いても、それに対処できないときになる「無気力」のような心理状態を言います。長いアパシー状態からうつ病になることがあります。
5. ○ ハーディネスはストレスに負けない力を指し、レジリエンスはストレスに負けてもそこから回復できる力を指します。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus